

交通事故ゼロの町へ

《2026年》
7/14

交通安全街頭啓発

7月13日～22日の「夏の交通安全運動」に合わせて、恋問館で街頭啓発活動が行われました。

交通安全指導員や警察署員など9人が参加し、交通安全を呼びかけ、チラシや反射材などを100セットを配布しました。白糠交番の内山裕貴署長は「交通法規を守り、余裕を持った運転を心がけて、交通事故防止に努めてほしい」と話していました。



交通安全を呼びかけチラシなどを配る参加者

採れたての旬をゲット！

《2026年》
7/12

ちゃろマートがスタート

白糠産野菜の直売所「ちゃろマート」（米内山愛子代表）が今季の営業を開始しました。

会場には、開店前から多くの人々が列をつくり、採れたての野菜を買い求める来場者でにぎわいました。

参加者は、店頭に並んだ新鮮な野菜を手に取り、生産者との会話を楽しみながら旬の味覚をかごいっばいに詰めていました。



多くの来場者でにぎわう会場

料理のイロハを実践で学ぶ

《2026年》
7/15

男の料理教室

町主催の「男の料理教室」が保健センターで行われ、参加した5人が料理のコツを習得しました。

参加者は町職員から手ほどきを受け、豚の生姜焼きや小豆ミルク寒天など、4種類のメニューを作りました。初めて参加した中家謹一さんは「やってみると簡単で、家でも作りたいと思った。また参加したいです」と笑顔でした。



真剣な面持ちで料理に励む参加者

さらなる安心へ新たな備え

《2026年》
7/15

大規模災害に備え、物流支援協定を締結

白糠町と一般社団法人AZ-COMネットワーク、(株)北海道丸和ロジスティクス、(株)ルートは「大規模災害時等における支援活動に関する協定」を締結しました。

本協定により、災害発生時における支援物資の調達や配給など物流面での支援体制を構築し、町民の安全・安心の確保につなげます。



物資支援協定を締結した関係者

鍛高の頂を目指して

《2026年》
7/12

全国から腕自慢が集結
鍛高譚杯パークゴルフ

第22回鍛高譚杯パークゴルフ大会（白糠パークゴルフ協会主催）がパークゴルフインチャロで開催され、町内外から男性95人、女性44人が参加しました。

参加者はスコアを争う中でも、互いのプレーを称え合いながら和気あいあいとした雰囲気楽しんでいました。

男子の部は帯広市の横浜太郎さんが100打、女子の部は白糠町の伊藤真理江さんが105打で優勝しました。



狙いを定めた豪快なティーショット

広がる交流、深まる学び

《2026年》
7/11

文化協会活動発表会

白糠町文化協会月例活動発表会が社会福祉センターで開催され、囲碁教室と書道教室に会員が参加しました。

参加者は、作品や対局について意見を交わし、それぞれの技術や知識を高める機会となりました。

書道教室に参加した木屋和子さんは「学んだことを普段のサークル活動に生かしていきたい」と話し、今後の活動への意欲を新たにしていました。



真剣な表情で筆を走らせる参加者

プロの技術を肌で体感！

《2026年》
7/12

子どもスポーツ教室に
北海道イエロースターズが登場

札幌市を拠点とする男子バレーボールチームで、今季から国内最高峰のSVリーグへ参入する「北海道イエロースターズ」の選手を講師に招いたバレーボール教室が総合体育館で行われました。

来町したのは柳澤賢選手、久保下航平選手、吉村颯太選手の3人で、参加した35人の子どもたちは、サーブやレシーブ、スパイクのコツなどを丁寧に教わりました。教室の最後には選手とミニゲームで対戦し、プロの強烈なスパイクやサーブに圧倒されながらも、粘り強くボールを拾い、白熱したラリーを繰り広げました。



最後は全員で記念撮影



レシーブのコツを教える
久保下選手（左から2人目）



吉村選手（右）にスパイクを打つ中学生



子どもたちにアドバイスする
柳澤選手（左から2人目）